



>「親子ふれあい」会長あいさつ

福岡市PTA協議会 会長 西方 俊司

小学生・中学生のみなさん、夏休みを楽しんでいますか。残りわずかとなりましたが、日頃できない事に挑戦できるのがこの期間ではないでしょうか。ボランティア活動や体力作り、自然探索など、まだチャレンジできる事はたくさんあります。

お父さんお母さんと話し合い、ぜひ挑戦してみてください。ただし、宿題はしっかり終わらせてくださいね。

保護者の皆さんにおかれましては、日頃より福岡市PTA協議会の活動に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本コンサートは、「親子がふれあい、絆を深める」ことを目的に開催しております。普段なかなか子どもと向き合う時間が取りにくい家庭もあるでしょう。しかし、子どもと一緒に過ごせる時間は限られています。その時間をつくるきっかけとなり、親子の絆が深まることによって子どもたちの心の成長の一助となればと考えております。どうぞ、親子の大切なひとときを、音楽とともにをお楽しみください。

東福岡高等学校・東福岡自彌館中学校
吹奏楽部の紹介

私たち東福岡高等学校・東福岡自彌館中学校吹奏楽部は、全国でも珍しい男子だけで構成された吹奏楽団です。

東福岡といえばスポーツという印象があると思いますが、私たち吹奏楽部も精力的に活動しています。

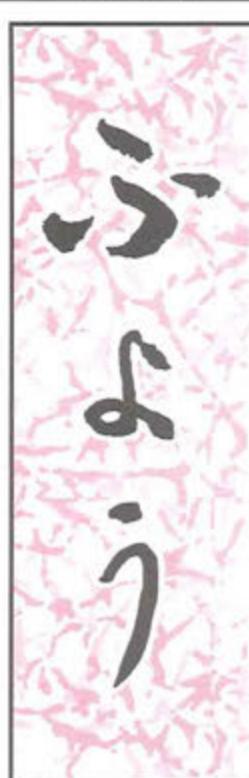
顧問の先生方のご指導のもと、「何事にも全力で!」をモットーに、日々ヒガシサウンドに磨きをかけています。

コンクールなどの大会出場、また地域のイベントにも数多く出演し地域貢献への活動にも積極的に取り組んでいます。



演奏プログラム

- ♪ 音楽祭のプレリュード
- ♪ 行進曲「木陰の散歩道」
- ♪ ブラスコンサート
- ♪ 宇宙の音楽
- ♪ 銀河鉄道999

発行所
福岡市中央区天神1丁目10-1市庁舎北別館
福岡市PTA協議会発行人
会長 西方俊司
広報委員会

福岡市PTA協議会
ホームページ
<http://www.fukuokacitypta.jp>

福岡市PTA 印刷 (株)西日本新聞印刷

平成30年8月20日(月)

場所 アクロス福岡
シンフォニーホール
参加者 2,800名

平成30年度 福岡市PTA協議会 九州管楽合奏団コンサート

親子ふれあい事業



指揮者: 松澤洋さん

九州管楽合奏団

九州在住の演奏家によって
2004年に発足。宗像ユリックスを本拠地として、各地で演奏活動を展開しています。
様々な活動の中でも、特に自主公演として福岡シンフォニーホールで行っている定期演奏会は、
芸術性の高い吹奏楽作品を集め、日本を代表する指揮者を招いて開催しており、注目を集めています。九州で唯一のプロオーケストラ「九州交響楽団」とともに、吹奏楽の「九州管楽合奏団」として、
地元の皆様に愛される音楽団体を目指しています。



アンケート

吹奏楽をしっかり聴いたことがなかったので、親子ともに、とても感激でした。初めて見る楽器もあって、どうやって使うのか?どんな音がするのか?すごく興味がもてたようでした。耳にしたことのあるメロディーや知っている曲もあり、退屈するかな?と心配を少ししていましたが、飽きることなく聴くことができて、初めてでしたが、また別の機会が持てればと思いました。楽器の紹介や音色の違いも知ることができとてもよかったです。すてきな時間をありがとうございました。

市PTA主催の行事応募を初めました。こういう活動もあるんだと、来てみて、子どもの楽しそうな様子を見て思いました。学校に通わせていますが、PTA活動をよく知らないんだと思いました。いろいろな活動に今回のように「行ってみようかな~」というところから始めてみようと思いました。

.....プログラム.....

- ♪ エル・カミーノ・レアル
- ♪ 吹奏楽のための「ワルツ」
- ♪ クラリネットキャンディ
- ♪ シャウティン・ライザ・トロンボーン
- ♪ シロフォン・オブ・ザ・マジック
- ♪ リトルマーメイドより「アンダー・ザ・シー」
- ♪ ファミリーアニメコレクション
- ♪ アフリカンシンフォニー
- ♪ ピリーブ

31年度

教育予算要望

教育環境の改善とPTA活動のさらなる充実を図るため、市内小・中・特別支援学校より出た意見をもとに教育問題委員会にて討議し、理事会の承認を経て、平成31年度教育予算要望を作成いたしました。

福岡市PTA協議会 西方俊司会長より福岡市教育委員会 星子明夫教育長に要望いたしました内容を一部紹介いたします。

① 単位PTAがより一層の充実した活動を展開していくための支援施策を図られた

全学校において、PTA会議室の確保ならびに空調等不足している設備のさらなる充実を一層進めていただきたい。地域と連携した学校・PTAとするため、地域の方が自由に交流できるコミュニケーションスペースの設置ならびに積極的な事業連携、相互交流、地域との交流を深める事業に対する支援をお願いしたい。

② 学校教育内容のより一層の充実を図れたい。

児童生徒へのよりきめ細かな指導を実現するために、国に対して、教職員定数の増員にむけた働きかけの強化をお願いしたい。義務教育期間9ヶ月を全学年上限35人学級とし、小学校においても副担任を置くなどきめ細やかな指導ができる体制を実現していただきたい。

③ 学力向上のための施策の充実をお願いしたい。

基礎学力向上のため、チームティーチングや個別指導の一層の推進をお願いしたい。そのため福岡市独自で可能な教職員の増員に取り組んでいただきたい。とりわけ、学習支援、指導方法工夫改善、専科教員の増員を早急にお願いしたい。

④ 全児童・生徒を対象とした生活習慣・学習定着調査を実施していただきたい。

自然教室や地域との交流などの体験学習をさせたいので、より一層の充実と予算配分をお願いしたい。

⑤ 学校教育の諸問題解決のための措置を図れたい。

教職員の多忙感を解消し、個別指導など児童生徒と向き合える心と時間の余裕を持ち、本来の教育義務の時間が増やせる環境を整備していただきたい。読書教育の推進・充実を図られたい。全学校に学校司書を1名早急に配置していただきたい。

⑥ 食育推進をむかし進めていただきたい。

★保護者や校区内居住者に対して、障がい

●全学校に栄養教諭または学校栄養職員を配置し、また教育指導の充実をお願いしたい。

●児童生徒の教育方針に基づいた喫食時間を適切に確保するための施策を推進していただきたい。

●中学校における部活動活性化のため、より一層の施設展開をお願いしたい。

●部活動活性化のための予算面、施設面の拡充をお願いしたい。

●部活動顧問教員の指導手当の増額および同教員の指導時間の確保、負担の軽減の仕組みづくりをお願いしたい。

●生徒の安全確保のため、補助指導者のさうなる増員をお願いしたい。

●部活動顧問教員および補助指導者へ、事故防止のための講習会の実施をお願いしたい。

●学校教育環境整備充実を図られた。

●トイレの老朽化や破損が著しいため、大規模改修事業とは別に早急に対応していただきたい。

●普通教室以外の特別教室等にも、冷暖房等の空調設備の設置を引き続きしていただきたい。

●安全かつ快適な学校作りを推進するため、老朽化や破損など、各学校施設が抱える課題に引き続き対応していただきたい。

●陽がいのある児童生徒が居住校区の小中学校に通えるよう、一ニーズに沿った特別支援学級の設置をお願いしたい。

●特別支援学級における教職員定数の改善(最大5名に1名の配置)の早期実現を推進するための働きかけを強化していただきたい。

●多様化する障がいに対応するため、全ての学校においてE.V.等の施設設備の充実、ならびにバリアフリー化の促進をお願いしたい。

●特別支援学級に在籍する生徒の高等学年進学に対する積極的な支援をお願いしたい。

●ある人の理解と啓発を深める教育および交流を積極的に推進されたい。特別支援学校高・中・小学校等を含む)解消および健全育成・非行防止のためのさくらなる施策を図られた。

●いじめを防ぐための教育や体制作りの、より一層の推進をお願いしたい。

●カウンセリングが即時対応できる体制の実現のため、スクールカウンセラードの小・中学校全校配備を早急にお願いしたい。

●登校対応教員、スクールソーシャルワーカーの小学校への配備拡大、全校配備をお願いしたい。

●小学校においては生活補導主事(専任)の配備および児童支援加配教員のより一層の配備をお願いしたい。

●不登校対応教員、スクールソーシャルワーカーの小学校への配備拡大、全校配備をお願いしたい。

●中学校においては生活補導主事(専任)の配備および児童支援加配教員のより一層の配備をお願いしたい。

●子ども達の健全育成のために養護教諭の増員をお願いしたい。

●児童・生徒の安全確保及び危機管理のための施策をより充実させたい。

●死角のある場所を無くすために、必要な時に画像の確認ができる高性能防犯カメラの台数を増やすべし。

●防犯カメラのレコーダーの不具合が見受けられるため、早急に更新をお願いしたい。

●不審者の侵入を未然に防ぐためのセンサーライトの設置をお願いしたい。

●不審者の侵入などの緊急時に早急に職員室などに知らせることのできるインターーホンの設置を中学校にもお願いしたい。

●現在、社会情勢の急速な変化、保護者の価値観の多様化、学習指導要領の改訂に伴う新しい教育等、今後の児童・生徒を取り巻く教育環境は大きく変わっています。中、若年教員の増加と経験豊かな教員の大量退職が続いている。今後も教員の質の向上と、児童・生徒の持つ課題解決に丁寧に取り組むためにも、欧米同様の少人数教育を目指していただき、教職員の定数増員をお願いします。

●7その他の

●学校は人をつくりあげていく大切

●現場の意見を大切に

●職員、学ぶ児童、生徒、見守る保護者

●現場の意見を大切に

●より良い環境づくりを期待して

●います。

小学校・中学校・特別支援学校PTA 担当副会長交流会



9月21日(金)ソラリア西鉄ホテルにおいて、市内小・中・特別支援学校の担当副会長が集まり、研修会・交流会が行われました。

研修会

講師 子育てアドバイザー 熊丸みつ子氏

プロフィール 幼児教育・家庭教育専門家。全国の子育て教室、母親学級で親子あそびや講演活動をし、幼稚園・保育園・小・中・高校の教師研修会講師や保護者向け講演会、地域子育て支援講座講演講師を務める。

著書 「うちの子最高!子どもたちに伝えたい!親として、おとなとして、地域として」、「大丈夫!子育て順調よ!」他

この日は「人としての成長のために～PTA活動等を通して～」という演題で、今を生きる子どもたちの気持ちと子育て中の私たち母親の気持ちの両方を代弁してくださり、ついイライラしてしまう日々に大丈夫!私たちの子育て順調よ!とエールを送ってくださいました。はじめから最後まで笑いと温かな涙あふれる素晴らしい講演でした。



みんな笑顔が大好き!

笑顔が嫌いな人なんていない。子どもも大人も、いつもお互いの笑顔に癒されています。

子どもは特にお母さんの笑顔が大好き。笑顔をもらうことは子どもの仕事。子どもにとってお母さんの笑顔は精神安定剤です。

大人の役割

子育ては親の仕事だと思っていませんか?親はもちろん、おじいちゃんおばあちゃん・親戚のおじさんおばさん・学校の先生・地域の方々、子どもに聞かれたすべての人が子どもを育てるのです。昔と比べて現代は、子育てに関わる大人の数が少なくなっています。子育てとは大人が子どものためを思って叱り、褒めて、生き方を伝えていくこと。人は人の中しか育たないのです。我が子をほめるようにその子もほめて、我が子を叱るようによその子も叱る、それが大人の役割です。

アンケート

『順調』という言葉に、とても励されました。私(我が家)も順調なんだと思いました。

「悩んでいた事は、悩みではないんだ!」「私らしく楽しんでやっていこう」と前向きになられました。



谷山氏によれば、いじめの抑制と
拡大にクラスの「傍観者たち」の態
度が大きく関わることを国内の研究
結果に見出し、いじめの初期段階か
らはつきりとNOを突きつける態度
を「傍観者たち」がとることで、加
えます。

中高生にも普及しているSNSは
便利なコミュニケーションツールでは
あると同時にいじめの温床ともなっ
ています。講演で上映された短編映
画では、クラスでの振る舞いに独り
よがりな面が見られる男子中学生「松
尾」、全クラス生徒公認のSNS上で
「松尾」を罵倒し合う数人の生徒「加
害者たち」が描かれ、傍観者の一人
として想定した場合、自分はSNS
へどのように関わるべきか、議論が
行われました。

いじめ抑制の具体的な手法

グループディスカッション

ストップイットジャパン株式会社
代表取締役社長の谷山大三郎氏をお
招きし、学校内でいじめ撲滅を目
指す取り組みに関する講演を行な
りました。いじめの拡大につなが
るクラスの雰囲気に着目し、いじめ
が起きにくい雰囲気を作りたいと
元メジャーリーガーのデレク・ジ
ター氏や松井秀喜氏も積極的に推薦
する谷山氏の熱意あふれる社会貢献
企業に、参加者の関心は高まりまし
た。

講演



最後にいじめに関する事件報道が
繰り返される今日、中高生にとつ
て必要な商品であり、同時にいじめの温床で
あります。そこで、谷山氏は匿名で通報可能の
スマートフォンのアプリケーションを提案して
います。千葉県柏市で運用を報道したTV番組の一場面で
、テクノロジーが子どもの笑顔な
可能性を垣間見ることができます。

書者たち」がいじめ行動をとりにくくなるとのことでした。しかし、
先が自分に向くかもしれないとの理解
は、いじめを傍観する理由として
できなものではありません。そこで、谷山氏は匿名で通報可能のスマートフォンのアプリケーションを提案しています。千葉県柏市で運用を報道したTV番組の一場面で、テクノロジーが子どもの笑顔な可能性を垣間見ることができます。



会長合同研修会

平成30年10月17日
主催 福岡市PTA協議会

第74回指定都市PTA情報交換会 北九州大会

平成30年9月13日(分科会)14日(全体会)

大会テーマ ~子どもたちの素敵な笑顔のために~

この情報交換会は、全国にある指定都市PTAの役員、関係者が一堂に会し、それらの協議会(連絡協議会)活動の成果と課題を共有することを主目的として毎年開催しているものです。今年はおとなりの都市、北九州市で16都市が参加しての開催予定でしたが直前の北海道地震のため、札幌市が参加することができませんでした。

まず始めに「うまれててくれてありがとう」という演題で子育てシンガーmonさんを講師に迎え、講演が行われました。monさんの講演では、幼少期よりいじめにあっていましたが人生を変える先生との良き出会いがあり、結婚後の死産や不妊治療の経験の中から気づいた「いのち」の大切さを歌と語りで私たちに伝えてくださいました。明日死ぬかもという気持ちで思いをその都度伝えることが大切であると語られました。歌と語りは心が綺麗になり、優しい気持ちと感謝の気持ちが溢れ、勇気の湧いてくる講演でした。

その後、分科会では「組織・運営」「研修活動」「地域連携」「広報活動」に分かれて、北九州市の提言をもとに情報交換を行いました。

全体会では「あなたは子どもに何を遺せますか」という演題で「はなちゃんのみそ汁」を出版され、映画も公開されている西日本新聞社編成委員安武信吾氏の記念講演が行われました。安武氏の講演では20代で乳がんを患い33歳で、幼い娘と安武氏を残してこの世を去られた奥様が、生前余命を覚悟して幼い娘に何を伝え遺せるかと考え、生きていいく中で食べることの大切さを伝えようと、5歳の娘にみそ汁の作り方を教えたそうです。私は目の前の事で精いっぱいの子育てをしていますが、子どもが大人になるまでに大人として何を伝えていかなければいけないのか改めて考えさせられる講演でした。

<1日目>9月13日(木)ステーションホテル小倉

12:50~13:50 講演題「うまれててくれてありがとう」
講師 子育てシンガー monさん
14:00~14:40 前大会 開会行事
14:50~18:00 分科会
18:30~20:30 交流会

<2日目>9月14日(金)ステーションホテル小倉

8:15~ 9:15 指定都市PTA連絡協議会 会長会
9:30~ 9:50 全大会 分科会報告
10:00~11:30 記念講演
演題「あなたは子どもに何を遺せますか」
講師 西日本新聞社 編成委員 安武信吾氏
11:30~11:45 閉会行事



第66回日本PTA全国研究大会 新潟大会(全大会)

スローガン 教育は未来を拓く

新潟発 米百俵の精神!

~新潟に集い、語ろう 未来のひとづくり~

越後新潟は、「米百俵の精神」の地です。「百俵の米も、食えぱたちまちなくなるが、教育にあてれば、明日の一万、百万俵となる。」と藩士を論じ、救援米を売り、国連学校を建て、故郷の未来を教育に託した小林虎三郎の想いを、全国から集うPTA会員と語り合うことで、教育、子育ての意義を再確認するとともに、今後のPTA活動の意欲を高める研究大会でした。

各分科会では懸命に取り組む活動が提言され熱い討議が展開されました。

全大会では「夢を追いかけた俳優人生」という演題で、俳優の高橋克実氏による講演が行われました。動機はさておき、目の前のやるべきことを一生懸命すれば、道は開けていく。人生の点が線になるタイミングはひとつそれぞれである。人生何が起こるか分からないから楽しいのだと語られました。



市PTA担当役員	校長	小学校	中学校	南片江小 東花畠小 平尾中	西尾中 吉塚中 長丘中 伊藤俊夫	第132号主担当者 菅松小 川口三代次 張浩子 木村由美	第131号主担当者 吉塚中 寺崎中 阿部たかみ	第130号主担当者 城南区 博多区 中央区 南片江小 東花畠小 板付小 南片江小 吉塚中 寺崎中 今村佳子 西村晴子 坂本洋子 齋藤麻矢 宮内あすみ	委員長 副委員長 特別支援 南福岡特支 小島貴文	委員紹介

くま心い後思取り組んでいきたいと思
いです。心の感じた楽しさや心に響いた言葉などをわざわざ書かれてありま
った。アンケートに参加された方々に福岡市PTA協議会の活動に興味をもつて
いる人が多いです。広報委員みんなで、よく寝ること、早く起きたこと、朝食をとることの大
切さを再確認することができよかったです。

編集後記



129号モニターアンケート

◆PTA会長・担当副会長合同研修会で元岡小学校の取り組みについて行事の仕分けはとても興味を持てました。

◆学校給食特集で、日頃なかなか知ることのできない給食のことについて知ることができてよかったです。

◆親子ふれあい週間のアンケートの結果内容が、児童と保護者からの感想も書かれてあり、早く寝ること、早く起きたこと、朝食をとることの大切さを再確認することができよかったです。

◆福岡市PTA協議会の活動や取り組みなどを知ることができ、単Pとして参考になりました。